科目分類	看護専門科目　領域別看護			開講時期	3 年	後期
科目名	精神看護学実習					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	2 単位	90 時間	授業形態	実習
担当教員	石橋　佐枝子					
メールアドレス	s-ishibashi@tsuruga-nu.ac.jp（石橋）			オフィスアワー	実習時間内	

授業目的	精神障がいを持ちながら病院・地域で生活する人々のリカバリー（回復）の過程を支援するために、生物学的・心理学的・社会的モデルを用いて対象を理解し、必要な看護実践を試みる。さらに、対象者とその家族、他職種、実習グループメンバー等と円滑に協働するためのコミュニケーション能力を修得する。
授業概要	１．精神科病院や施設における看護活動を学び、対象者の人権と個別性を尊重した効果的な看護の実際を学ぶ。 ２．精神障がいを持つ対象者のストレングスを活かしたアセスメントを行い，リカバリーに向けた看護実践を試みる。
授業計画	１．実習施設での看護活動に参加し、ケアの実際を理解する。 ２．対象者の情報を多角的に収集し、生物学的・心理学的・社会的モデル（バイオ・サイコ・ソーシャルモデル）やセルフケア理論を用いて総合アセスメント（身体・精神状態、セルフケア、リカバリーの視点から）を行い、セルフケア上の目標、看護計画を立て看護過程を展開する。 ３．プロセスレコードを使い、自己洞察を深めて自己理解を行う。さらに対象者の理解と効果的介入方法を模索する。 ４．対話により、対象者の声・苦悩や願いを聴き、対象者にとってのリカバリーとはどのようなことかを考え、実現するための看護計画を立案し、実践を試みる。 ５．看護ケアを展開しながら多職種連携、社会資源の活用、チームの中での看護の役割を理解する。
教材 参考文献等	参考図書： 萱間真美編集、パーフェクト臨床実習ガイド　精神看護学実習ガイド、昭林社 斎藤環・水谷緑（2021）まんが やってみたくなるオープンダイアローグ 医学書院
成績評価 基準・方法	実習目的の達成度（50%）、事前課題・テスト（10%）、実習中の積極的姿勢・態度（40%）として総合的に評価する。

履修要件	精神看護学概論，精神看護学を修得していること。
留意事項 その他	精神看護学概論、精神看護学を十分に復習した上で受講してください。講義時に指示した事前学習を行って実習に臨み、積極的に臨地指導者及び教員に質問・相談を行って学びを充実させて下さい。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての精神看護の臨床経験を活かして、精神障がいを持ちながら生活する人々の回復を支援するために必要な看護の実習指導を行う。